

仙北市神代土地改良区

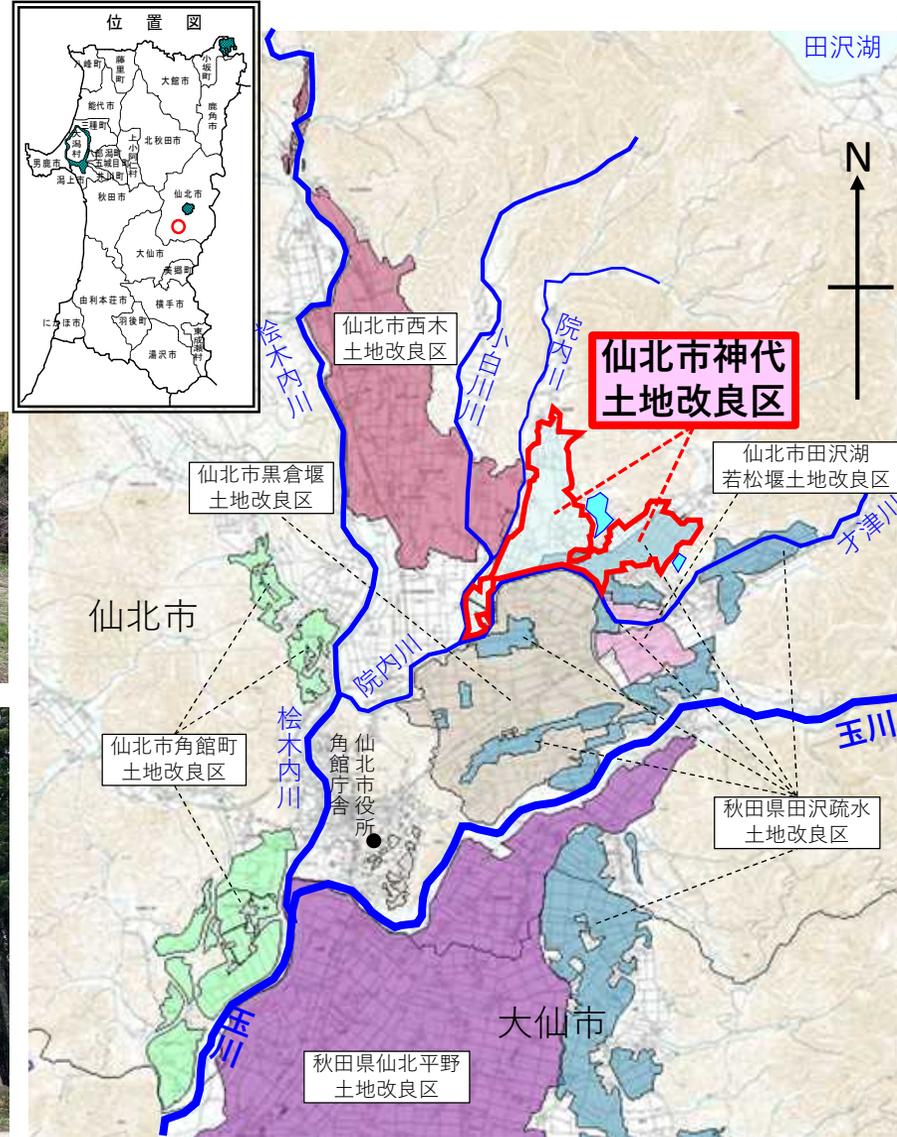
受益面積 291 ha

地域の概要

- 当土地改良区は、仙北市の院内川と才津川に挟まれた地域を受益地とし、
 - ・ 東側の金峰神社の麓の受益地では刺市川に設けられた堰やため池
 - ・ 西側の院内川左岸部の受益地では院内川に数か所設けられた頭首工やため池から取水し、さらにほぼ全域で田沢疏水からの補給水を受けている。
- 地区においてはほぼ全域において平成30年度よりほ場整備を実施している。



大石川原堰頭首工



【 内 容 】

- 農業水利システム（広域）
- 農業水利システム・用水系統
 - ・（各施設の状況）頭首工・ため池に加え、田沢疏水右岸幹線支線用水路2-1号より補水

- 施設の維持保全
- ほ場整備
- 地域の歴史

作 成	秋田県 農業農村整備等技術検討委員会 秋田県仙北地域振興局農村整備課
協 力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仙北市神代土地改良区 ・ 仙北市 ・ 秋田県土地改良事業団体連合会
作成経緯	ver. 1.0 令和7年3月
基本凡例	<p style="text-align: center;"> ● ため池 ⊕ 頭首工 Ⓟ 揚水機場 ○ 分水工 — 用水路 — 河川又は排水路 </p> <p>※ 資料作成の都合上、必ずしもこれらのおりの表記となっていない場合がある</p>
出 典	<ul style="list-style-type: none"> ・ 秋田県水土里情報システムのレイヤを使用したものは次のとおり 地形図：「測量法に基づく国土地理院長承認（使用） R6JHs 74-GISMAP59536号」 航空写真：「© NTT InfraNet, JAXA」 衛星写真：「© NTT InfraNet, Maxar Technologies.」 ・ その他土地改良区提供資料など
備 考	<p>本資料は、秋田県の農業を支える基盤であり、地域資源でもある農業水利施設について、土地改良区毎にその構成、歴史、維持管理等の概略を示し、土地改良区の組合員のみならず地域住民の皆様に対し広く周知するものです。</p> <p>これにより、各地域の農業水利施設を保全管理することの重要性について理解を深めていただき、農業水利施設の持続的な機能発揮と秋田県の農業の発展の一助となることを目指しています。</p> <p>本資料については、現地調査に加え、水土里情報システム内の資料、過去に実施した事業の資料、土地改良区からの提供資料、土地改良区からの聞き取りなどをベースに作成していることから、時点が古い情報や現状と比較し正確ではない情報が含まれていることがあります。このため、本資料を閲覧される方に置かれましては、このことを予め御了知いただくとともに、本資料を利用すること等により生じるトラブルや損害等については、秋田県ではその責任を負いかねますので、予め了承ください。</p>

農業水利システム 広域 田沢疏水（右岸幹線）から補水を受ける

- 仙北市神代土地改良区の主要取水水源は地区近傍の中小河川。
- 一方、不足する用水について、田沢疏水右岸幹線用水路から補水。

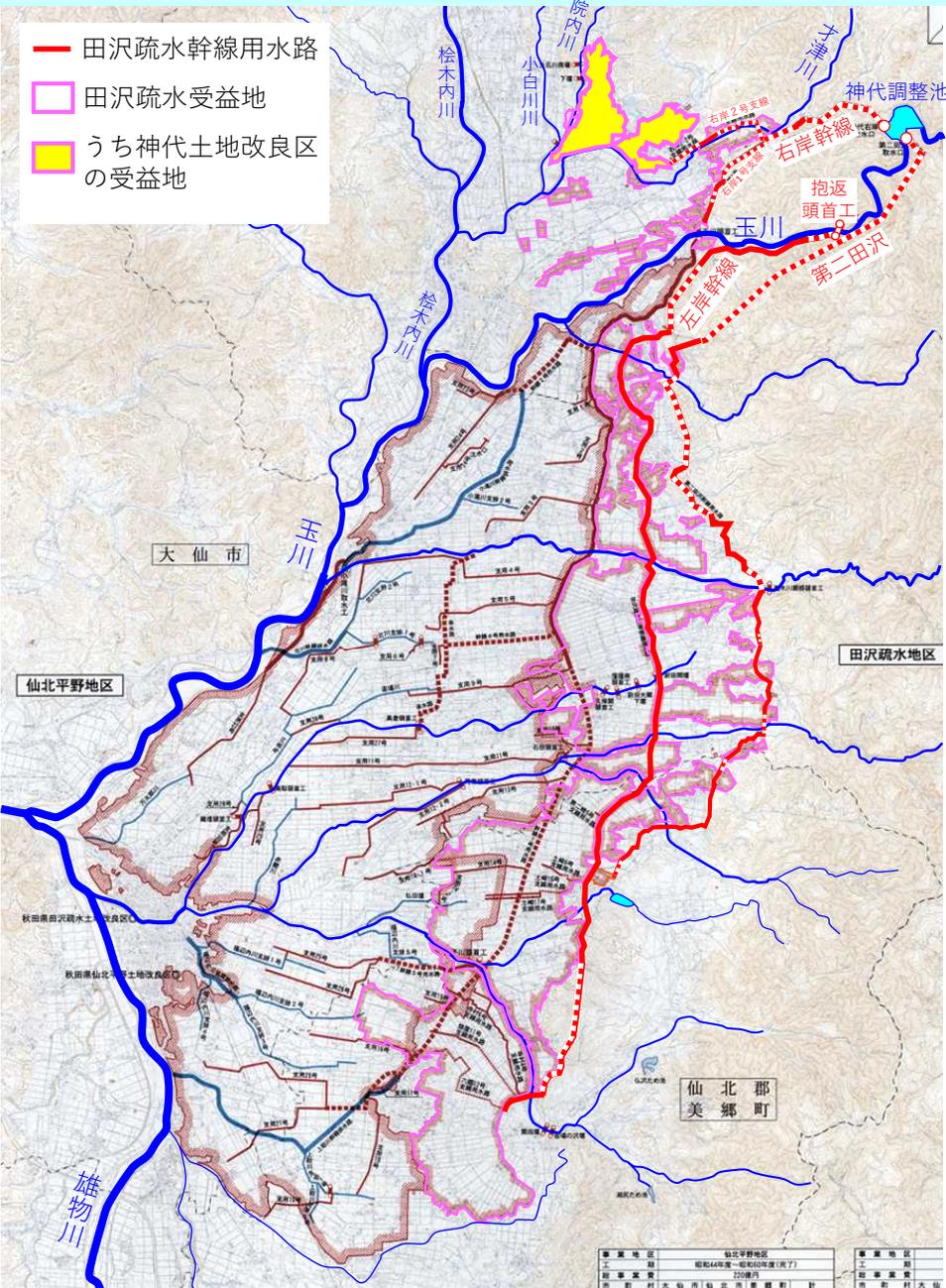
田沢疏水

(1) 歴史

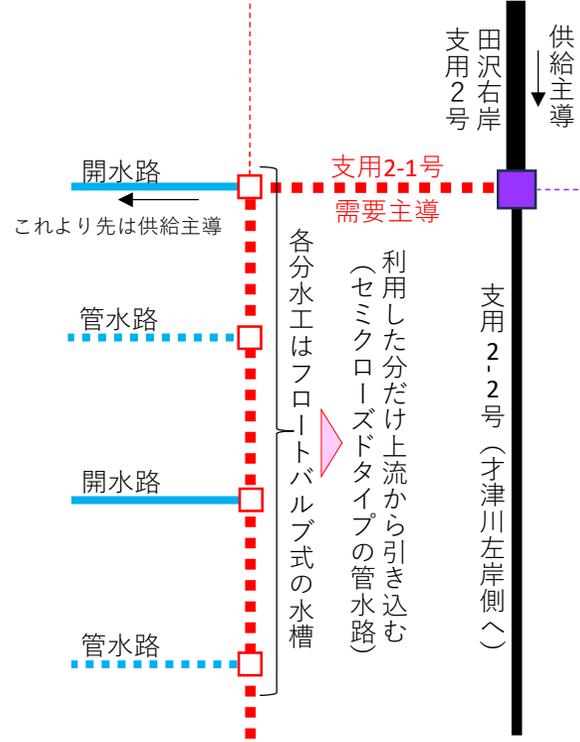
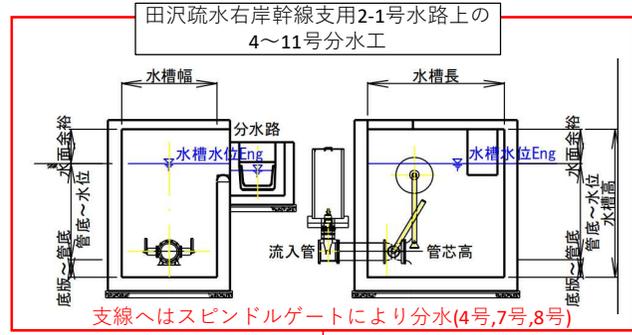
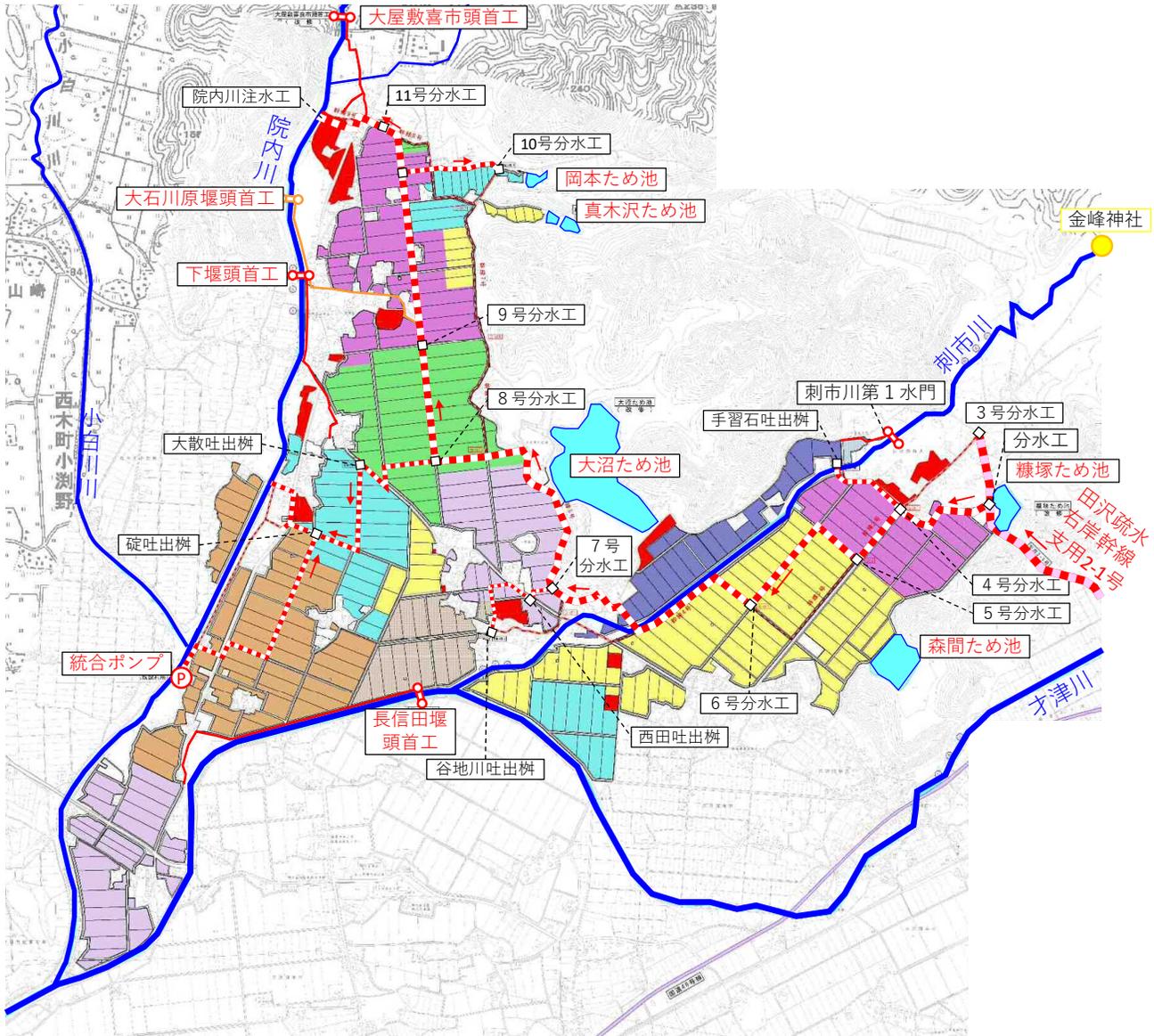
- 昭和12年～37年
「国営田沢疏水開拓事業」により、玉川に抱返頭首工を築造し左岸幹線用水路を整備するとともに、神代調整池に右岸取水口を設置し右岸幹線用水路を整備。
- 昭和38年～45年
「国営第二田沢開拓建設事業」により、神代調整池に左岸取水口を設置し第二田沢幹線用水路を整備。
- 昭和54年～平成元年
「国営田沢疏水農業水利事業」により、左岸幹線用水路及び右岸幹線用水路を改修。
- 平成23年～令和6年
「国営田沢二期農業水利事業」により、各幹線用水路を改修。

(2) 田沢疏水の管理

- 田沢疏水の主要施設については、田沢疏水土地改良区が管理。
- 田沢疏水土地改良区は、仙北市神代土地改良区の受益地を含む右岸幹線用水路の受益地に必要な用水を供給するよう操作・管理を実施。



- 地区に必要な用水については、院内川・刺市川・才津川に設置された頭首工やため池に依存。
- さらに、地区のほぼ全域において、田沢疏水右岸幹線用水路の支線用水路2-1号からの補水を受ける（長信田堰の受益を除く）。
- 田沢疏水右岸幹線・支線用水路2-1号からの分水から先の部分について、ほ場整備「神代地区」（H30-R8）において整備（圧力管）。

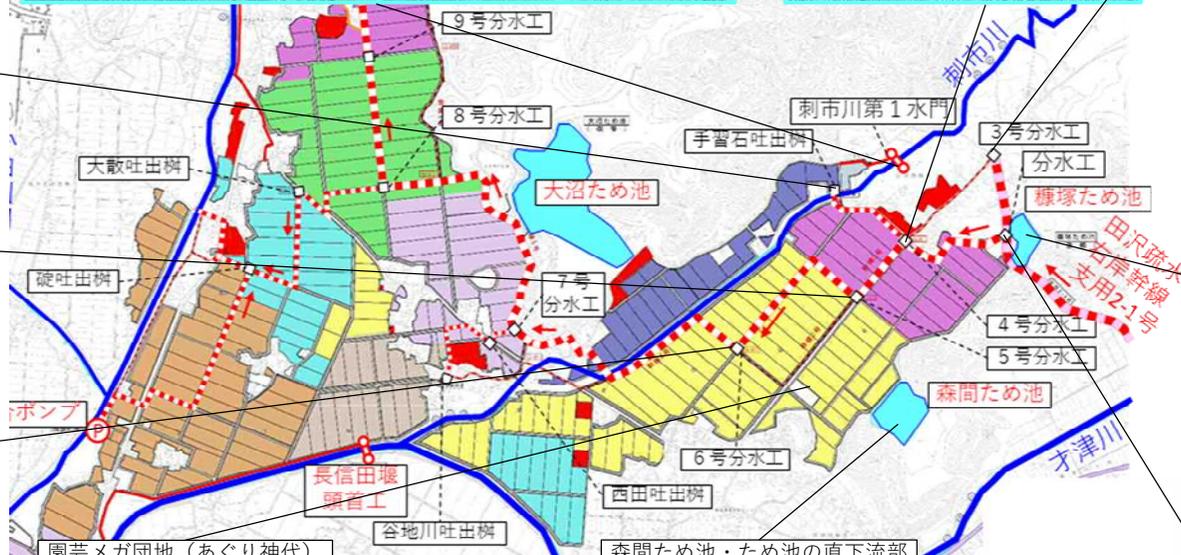


秋田県田沢疏水土地改良区が
手動により分水水量を調整

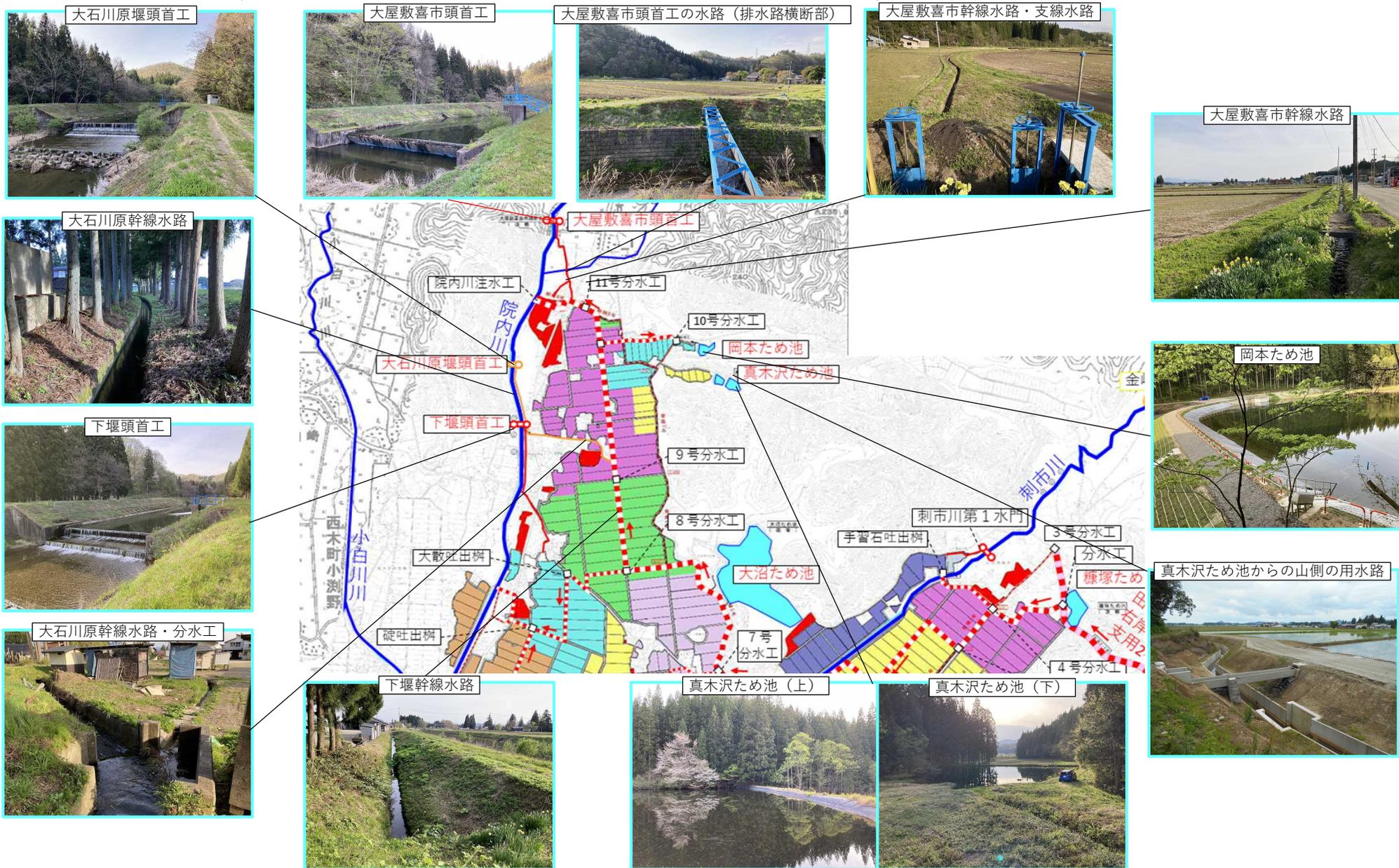
各施設の状況

頭首工・ため池に加え、田沢疏水右岸幹線 支線用水路2-1号より補水

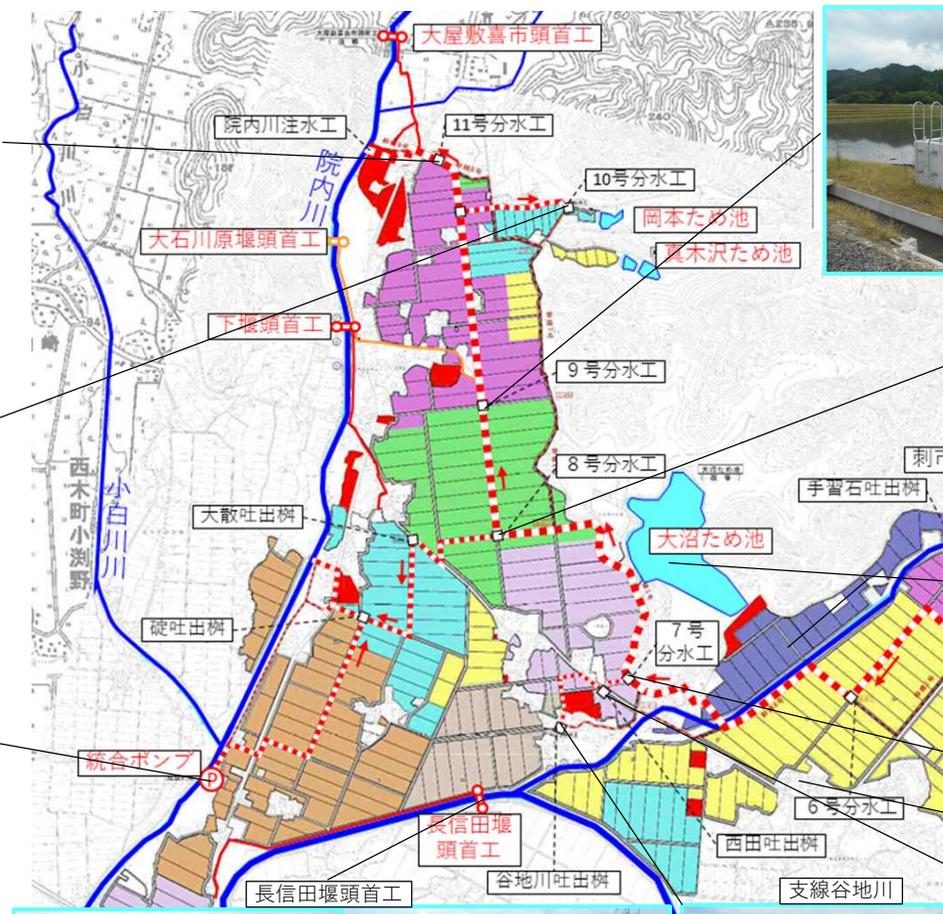
- 刺市川左岸は糠塚森間ため池・沢水+田沢疏水からの補水により用水需要を満たしている。田沢疏水は支用2-1号掛かりであり、パイプラインにより各箇所の分水工から用水供給。
- 刺市川右岸は刺市川第1水門+田沢疏水からの補水により用水需要を満たしている。



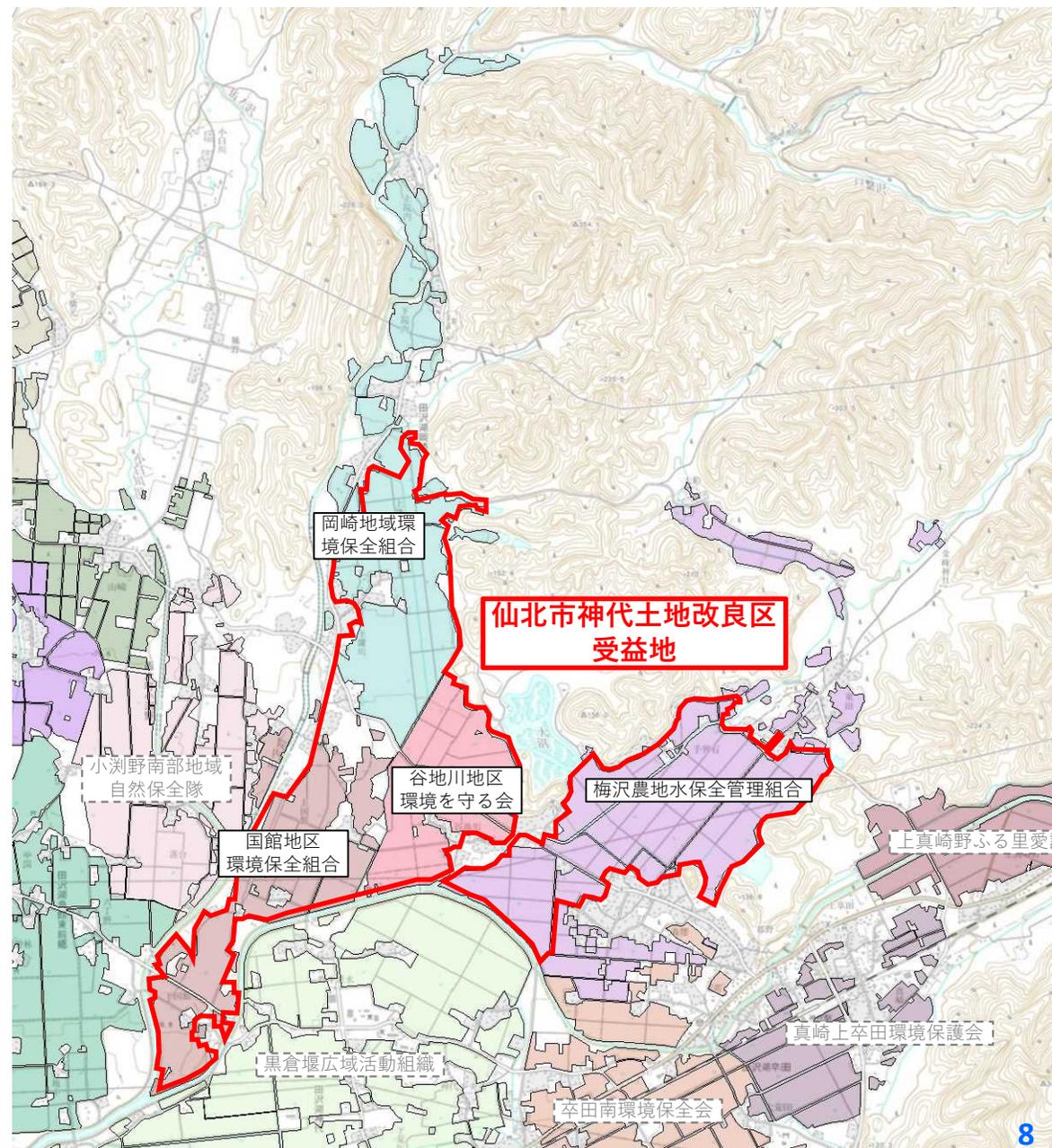
- 西側の受益地では、院内川の頭首工3箇所、揚水機場1箇所、岡本・真木沢・大沼ため池から用水を供給しつつ、田沢疏水から補給。
- 田沢疏水は支用2-1号掛かりであり、パイプラインにより各箇所の分水工から用水供給。



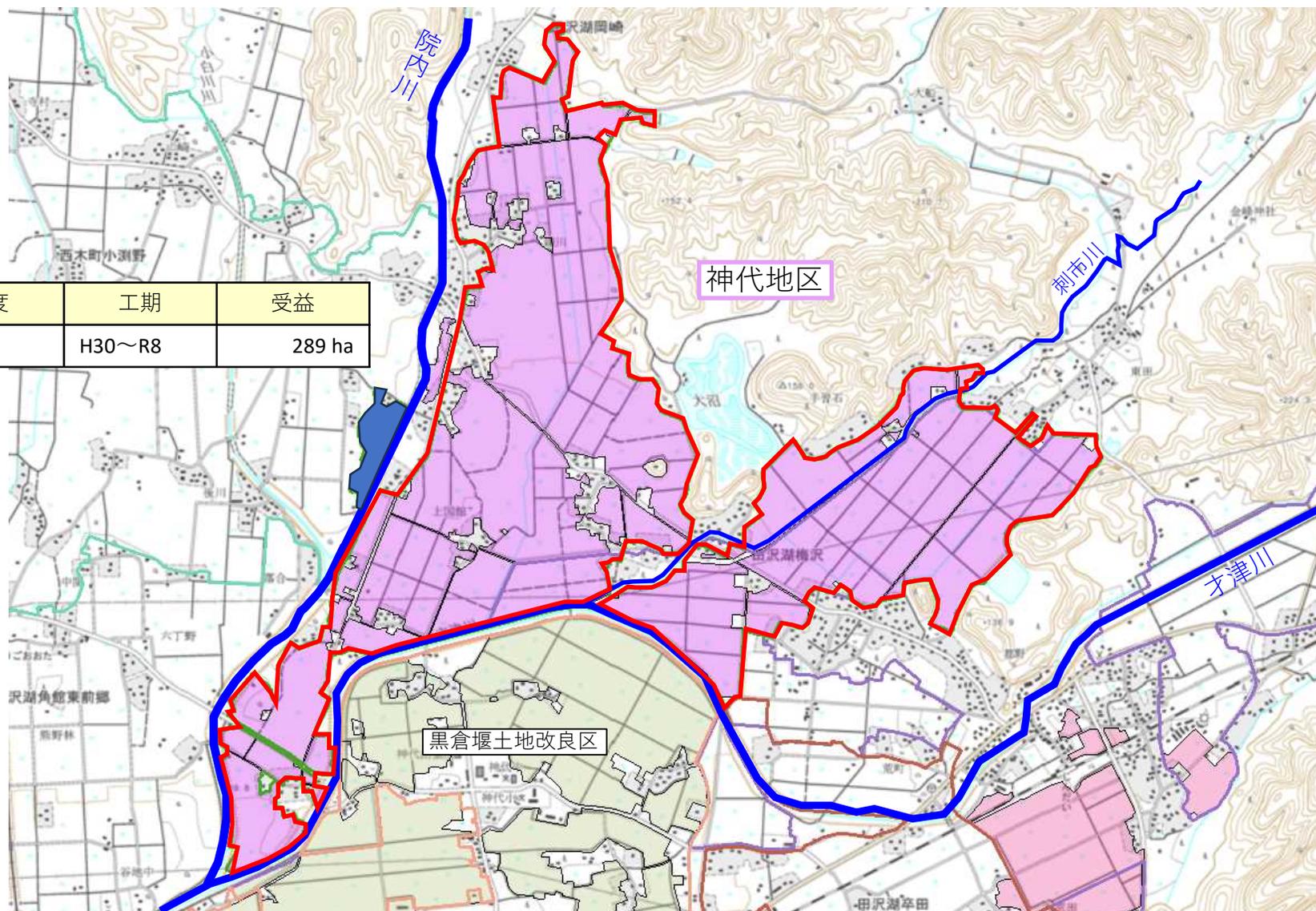
- 西側の受益地では、院内川の頭首工3箇所、揚水機場1箇所、岡本・真木沢・大沼ため池から用水を供給しつつ、田沢疏水から補給。
- 田沢疏水は支用2-1号掛かりであり、パイプラインにより各箇所の分水工から用水供給。



- 土地改良区の受益地内に 4 組織が存在。
- 土地改良区はこれら組織の構成員となっており、またこれら組織の事務を受託。
- 全ての組織が共同活動まで実施している。



■ 平成30年度から令和8年度にかけ、土地改良区受益のほぼ全域で、ほ場整備事業を実施。



地域の歴史 仙北市文化財の仁王像が安置される金峰神社

■ 地区の西側の山中にある金峰神社は、養老2年（西暦716年）に創立。



金峰神社

神社の由緒によれば「元正天皇養老二年三月十八日、梅沢手習石山に創立、大同元年に社殿が炎上し、蓮池観音堂に建立。此の地に池ありて常に白蓮生ずる故に蓮池と云い、本宮を蓮池観音と称した。更に建久の年現在地に遷宮した。」とある。

拝殿は宝暦二年七月建立、本拝殿兼用であったが大正十年に本殿が建立された。仁王門は安政四年六月建立。安置されている仁王像は一本の杉の巨木で二体の仁王像を彫刻したもので、いずれも仙北市文化財に指定されている。

古くから牛馬畜産の神として広く崇敬され、仁王の股を三度くぐらせると小児の健康増進に靈験があるとされている。

うっ蒼たる参道スギ並木は昭和五十九年三月、秋田県文化財に指定されている。
仙北市教育委員会